

# 東区居酒屋カフェ 開店です♪



子どもから高齢者まで

もう6回にもなるのは驚きです。月に1度の東区居酒屋カフェのことです。

3月より、毎月第4土曜日の夜7時から9時、岡田東区公民館で開いてきました。公民館は地域の居間でありたい。皆が親しく集まり、よもやま話に花が咲いて地区内のあれこれの情報が共有され、地域づくりに繋がっていくことを期待しての開設です。

## 有志で声を上げる

このような居酒屋活動は、地域づくりの一環として市内各地で始まっています。笹賀地区二美町2丁目町会で平成20年に始まった「居酒屋よってけや」、昨年秋に始まったばかりの大手公民館居酒屋の2箇所に、東区の有志で参加させていただきました。皆さん、大変熱く迎え入れて下さいました。私たちは、地域づくりのパワーともいえるそれぞれの会場の熱気に圧倒され、勇気づけられての取り組みとなりました。

運営主体は町会・公民館・どこ?..?..そんな難しいことは聞かないでください。当初いろいろ考えてはみたのですが、町会等の事業にすると、総会・事業計画・決算報告等は役員が負担増とか面倒なことがたくさん想定され、臨機応変な動きは難しくなりそうです。そこで、有志で声を上げることにしました。

## 「地域の居間」を目指す

世話人といった方などに極端に仕事が増えないよう、①自分の飲み食いするものは持参

②会費は無料

③準備かたづけは全員で

④子供のいる現役世代の家族から高齢者まで皆歓迎

といったことで行っています。また、この春第一興商からカラオケが岡田地区に寄贈されましたが、これを借りています。

地区に引越して来られてまだ間もない方、会社を退職したが地域に知り合いが少ない方など、何か地域とのつながりを考えている方が出席されているように思われます。毎回およそ10人から20人の参加をいただいています。もつと増えるよう、知恵を絞らなくてはなりません。

居酒屋カフェで配慮したいと思っているポイントや流れとしては、はじめに町会役員からの、地域の共通話題の提供。次に、参加者の自己紹介

や近況報告。全ては、話のきっかけづくりということになるのですが、このへんでアルコールもまわって全体的に盛り上がり、あちこちで談論が始まってにぎやかになって

きます。そこでおもむろにカラオケが始まるといった形をとると、話したい人・歌いたい人それぞれが満足できる望ましいかたちになるように思われます。話や歌が苦手な人酒が飲めない人、老若男女様々な方が心地よく満足して帰れるよう心掛けたいと思っています。

「地域の居間」が居酒屋カフェの目指すところですから、小学生や中学生のお子さんを連れただご家族全員の参加を特に歓迎しています。そんな場で、お子さんと高齢者、いろんな世代交流が行われることが理想です。若い現役世代の皆さんの理解をいただき、大体において参加者は女性や子供さんの方が中高年男性より多い状態が続いています。

地区外の方も大歓迎です。より強い思いを抱いて、遠くからわざわざいらっしゃって下さるのですから、貴重な方々と感謝しています。

## 地域を元気にする取り組みへ発展

このような語らいのなか、道路に張り出した庭木の剪定や側溝の整備、通り抜け車両の規制などの話が出され、町会として対応しました。

公民館を利用して地場野菜の新鮮市をやるうと提案され



東区よってけ市!

たときは、特に嬉しかったですね。自分たちで汗をかいた大きな取り組み、人と人をつなぎ、地域を元気に、景観も向上させる取り組みですから。「東区よってけ市!」不定期ですが、7月10日を初回として土曜日朝9時から10時に東区公民館で開催し、9月10日で5回目になります。看板・幟旗・事前のチラシ配布などの周知活動を行っています。野沢菜など、売れるものがなくなる11月末頃まで続ける予定です。お借りした大型パylonと寄付されたテーブルの素敵な屋外席は、無料喫茶コーナーとして語らいの場になっています。

どちらの催しごとにしても、皆さまがお立ち寄りくださることが支援になります。是非お越しください。

(小林 修)

人物登場

多くの人と知り合いたい

神沢町会長 中條 幸雄 さん

神沢町会長の中條幸雄さんをご紹介します。

中條さんは大学時代を除き、地元で活動されてきました。

家では農業とアパートを営んでおられ、ご本人はご両親と奥様に農業を任せ、地元のお会社に勤めていました。ご両親が高齢になり土地管理が難しくなったため、一念発起して55歳の時に会社を退職し、農業の世界に飛び込みました。農業は殆ど経験がなく、口からのスタートで大変でしたが、先輩の方々の教えを頂きながら、なんとかこの7年間を乗り越えて来ましたが、現在、林檎、葡萄、桃を栽培されています。

温暖化で林檎が赤くなくなり、桃は春先の病気など、ご苦労が尽きないようです。

その中で町会長はじめ、町会連合会、財産区、育成会、福祉ひろば、衛生、農家組合、JA女鳥羽支所葡萄部等々、



一人八役!? 地域のために!

(取材 伊藤恵子)

地域活動の役職を務められ、多忙な日々を送られています。役員を引き受けたのは、「神沢町会はじめ、岡田地域全体をよく知りたい。活動の中で多くの人と知り合いたい。」との思いからで「役を受けたからには責任をもって地域のために尽力したい。」との力強いお言葉を頂きました。立派な体格の方なので、初対面の私は少し緊張しましたが、お話しすると人当たりがやわらかく、穏やかな人柄とお見受けしました。強い意志をもって地域のために活動されており、これからの地域の発展を担う重要な方であると思われました。これからの活躍を応援しております。

「ぼんぼん・青山様」

岡田町の子どもたち、伝統を守る

松本市重要無形文化財の伝統行事「青山様」「ぼんぼん」を岡田町の子どもたちが大切に守り受け継いでいます。8月14日・15日の2日間、岡田町公民館を拠点として南と北のコースに分かれ、「青山様」の男の子は法被を着て御輿を元気に担ぎ、「ぼんぼん」の女の子は浴衣姿で歩きました。合わせ

て約70人が参加しました。青山様は一時期なくなりましたが約20年前に復活。当日の朝、子どもたちが杉の葉で飾った御輿を完成させ、威勢良く「青山様だい、ワッショイワッショイ」と太鼓を叩きながら町内を練り歩きました。ぼんぼんは祖母の代から60年余り、静かに守られてきました。

また、14日の夜は、岡田町町会・公民館も「岡田町納涼祭」を盛大に開き、子どもたちの後押しをしました。老若男女が集まり、水水や飲み物、食べ物・ビンゴゲームで盛り上がり岡田町全体が暑い夜を満を抱いていることを指摘しているようである。米国大統領候補者選挙において、民主社会主義者とされるサンダース氏が民主党指名候補になったクリントン氏と



楽しんでいました。少子高齢化で行事継承が難しくなってきた昨今ですが、子どもから大人、また故郷に帰ってきた人たちが懐かしく友と語り合い、家族・地域が一体となり、大きな輪の広がった一夜となりました。(取材 深井久代)

生活雑記

続 変わりゆく、変わらぬもの。

塩倉 太田 圭郁

接戦をし、一方で、不動産王であるトランプ氏が共和党指名候補になるという、錯綜した状況となっていることは象徴的であるといえよう。門外漢の筆者にはよくわからないが、少なくとも成長を

前提としない考え方(定常型社会というらしい)を導入すべき時期に来ている気がする。先月久しぶりに大学院時代の社会学専攻の同期と飲んだ際にそういった話題になった。彼は「衰退し続けるわけではなく、いくつか適正值(計算式は不明)で落ち着くはず」と楽観していた。しかし、東大に教授として栄転が決まった最後の講義で社会学の教官が「カオス(混沌?)が訪れるだろう」という予測をしていたことが少々気になる

前回の生活雑記に関連して、少々古くなるが4月28日付ネットニュースBUZZAPの「アメリカ人の若者、過半数が資本主義を支持せず」という記事を取り上げたい。米ハーバード大が16(29歳)の若者に対して調査を実施したところ、記事では母数は不明ながら51%が資本主義を支持せず、支持するとした42%を9ポイント上回ったというものである。調査者は、若い世代が市場主義経済という現状に対して不